

科目コード N-201	専門分野 広がる場での看護	単位数	必修 1単位
授業科目名	地域・在宅看護概論	時間数	30時間
担当教員	専任教員	開講時期	1年前期
<b>授業概要</b>			
南和広域企業団の管轄医療圏である、1市2町の環境と暮らしについて「調べ学習」を通して地域の暮らしの理解を深め、暮らしが健康に与える影響について考える。 また、在宅療養者と家族を取り巻く社会環境、地域ケア包括システム、健康づくりと介護予防について学び、地域・在宅看護活動の基盤となる概念を学ぶ。			
<b>到達目標</b>			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 南和広域企業団の管轄医療圏の生活環境と暮らしについて理解できる。</li> <li>2. 生活環境と暮らしが健康に与える影響について意欲的に考えることができる。</li> <li>3. 地域で生活する疾病や障害をもつ人々とその家族の特徴について説明できる。</li> <li>4. 在宅看護の倫理と基本理念を理解することができる。</li> <li>5. 在宅療養の対象をめぐる社会背景、保健医療福祉制度、施策、地域包括ケアシステムについて理論的・分析的な視点で考えることができる。</li> </ol>			
<b>ディプロマポリシーとの関連性</b>			
<input checked="" type="checkbox"/> 1. 人間の生活を理解するための基礎知識、生活者の健康を支援するための専門的知識を習得している <input checked="" type="checkbox"/> 2. 生命の尊厳と権利を擁護する倫理観、価値観を尊重したコミュニケーション技法を身につけている <input checked="" type="checkbox"/> 3. あらゆる健康の状態にある人々の健康課題を解決するために、根拠に基づいた看護を計画的に実践できる基礎的能力を身につけている <input checked="" type="checkbox"/> 4. 地域社会の健康課題を把握し、他の医療・保健・福祉の専門職者と協働し、対象者及び家族への支援に関する基礎知識を身につけている <input checked="" type="checkbox"/> 5. 専門職業人としての責務を自覚し、継続的に学習する力と自己のキャリア形成をみずえ社会に貢献する意欲を持っている			
<b>回</b>	<b>学習内容</b>	<b>授業方法</b>	<b>場所</b>
第1回	地域のなかでの暮らしと健康・看護、人々の暮らしと地域・在宅看護	講義	教室1
第2回	暮らしの理解演習	講義・演習	教室1
第3回	暮らしの基盤としての地域の理解	講義・演習	教室1
第4回	地域の理解演習	講義・演習	教室1
第5回	地域在宅看護の対象	講義・演習	教室1
第6回	家族看護・家族の理解演習	講義・演習	教室1
第7回	地域における暮らしを支える看護	講義・演習	教室1
第8回	地域における暮らしを支える看護	講義・演習	教室1
第9回	地域における暮らしを支える看護	講義・演習	教室1
第10回	地域・在宅看護実践の場と連携	講義・演習	教室1
第11回	連携協働を学ぶ演習	講義・演習	教室1
第12回	南和広域医療企業団の役割と機能、管轄医療圏(1市2町の理解GW)	講義・演習	教室1
第13回	南和広域医療企業団の管轄医療圏(1市2町の理解GW)	講義・演習	教室1
第14回	南和広域医療企業団の管轄医療圏(1市2町の理解GW発表・共有)	講義・演習	教室1
第15回	単位認定試験	講義・演習	教室1
<b>準備学習等</b>			
看護職は人々が、地域で健康的に暮らせるように支援します。そのためには、地域を理解することが不可欠です。自分の住居地域、南和地域、奈良県など自分の暮らす地域について興味を持って知りましょう。			
成績評価方法	筆記試験、グループワークの参加状況、レポート課題、発表、により総合的に評価する		
テキスト 参考書	医学書院 地域・在宅看護論 1地域・在宅看護の基礎、別巻:家族看護学 メディックメディア 公衆衛生が見える		
受講要件 ・備考			

科目コード N-202	専門分野 広がる場での看護	単位数	必修 1単位
授業科目名	地域・在宅看護実践論1:災害に備える暮らし	時間数	15時間
担当教員	専任教員	開講時期	1年後期
<b>授業概要</b>			
地域で生活する人々の災害に備える健康な暮らしをGWを通して学習する。 それをもとに、地域に根ざした看護と看護学生の役割を考える。			
<b>到達目標</b>			
1. 南和地域における災害に備える健康な暮らしを考えることができる。 2. 南和地域における、地域に根ざした看護と南奈良看護学校生としての役割について考えることができる。			
<b>ディプロマポリシーとの関連性</b>			
<input checked="" type="checkbox"/> 1. 人間の生活を理解するための基礎知識、生活者の健康を支援するための専門的知識を習得している <input checked="" type="checkbox"/> 2. 生命の尊厳と権利を擁護する倫理観、価値観を尊重したコミュニケーション技法を身につけている <input checked="" type="checkbox"/> 3. あらゆる健康の状態にある人々の健康課題を解決するために、根拠に基づいた看護を計画的に実践できる基礎的能力を身につけている <input checked="" type="checkbox"/> 4. 地域社会の健康課題を把握し、他の医療・保健・福祉の専門職者と協働し、対象者及び家族への支援に関する基礎知識を身につけている <input checked="" type="checkbox"/> 5. 専門職業人としての責務を自覚し、継続的に学習する力と自己のキャリア形成をみすえ社会に貢献する意欲を持っている			
<b>授業計画</b>			
回	学習内容	授業方法	場所
第1回	災害に備える健康な暮らしを考える(GW)	講義	教室1
第2回	(妊婦がいる家庭、乳幼児がいる家庭、障害者がある家庭等様々な状況に応じた災害に備えた健康な暮らしを考える)	講義・演習	教室1
第3回		講義・演習	教室1
第4回		講義・演習	教室1
第5回	4回までの学びをもとに災害時の看護と看護学生の役割を考える	講義・演習	教室1
第6回	災害時の暮らし演習	演習	体育館
第7回	災害時の暮らし演習	演習	体育館
第8回	単位認定試験		教室1
<b>準備学習等</b>			
災害の頻度や規模の拡大し、被害が増大しています。まずは自分や家族の命と生活を守るように、考えていきましょう。			
成績評価方法	筆記試験、GW、演習の行動により総合的に評価する		
観点			
テキスト 参考書	医学書院)地域・在宅看護論 1地域・在宅看護の基礎・別巻:家族看護・看護の統合と実践:災害看護		
受講要件 ・備考			

科目コード N-203	専門分野 広がる場での看護	単位数	必修 1単位
授業科目名	地域・在宅看護実践論2:南和地域の暮らしと地域包括ケア	時間数	30時間
担当教員	専任教員	開講時期	2年前期
<b>授業概要</b>			
南和広域医療企業団の管轄医療圏(1市3町8村)で生活する人々や生活を支える保健・医療・福祉に従事する方々との交流をとおして、地域における健康課題の抽出、地域包括システムについて理解する。福祉用具について、見学を通して実際に理解するへき地医療支援の機能と役理解する。へき地に暮らす人々が主体的に生活続けるための寄り添った支援を考える。			
<b>到達目標</b>			
1. フィールドワークを通して、地域で生活する人々の、健康課題の抽出、地域包括ケアシステムについて意欲的に考えることができる。 2. へき地医療支援について理解し、へき地に暮らす人々の生活を、継続的な支援に対する提言ができる。			
<b>ディプロマポリシーとの関連性</b>			
<input checked="" type="checkbox"/> 1. 人間の生活を理解するための基礎知識、生活者の健康を支援するための専門的知識を習得している <input checked="" type="checkbox"/> 2. 生命の尊厳と権利を擁護する倫理観、価値観を尊重したコミュニケーション技法を身につけている <input checked="" type="checkbox"/> 3. あらゆる健康の状態にある人々の健康課題を解決するために、根拠に基づいた看護を計画的に実践できる基礎的能力を身につけている <input checked="" type="checkbox"/> 4. 地域社会の健康課題を把握し、他の医療・保健・福祉の専門職者と協働し、対象者及び家族への支援に関する基礎知識を身につけている <input checked="" type="checkbox"/> 5. 専門職業人としての責務を自覚し、継続的に学習する力と自己のキャリア形成をみずえ社会に貢献する意欲を持っている			
<b>授業計画</b>			
回	学習内容	授業方法	場所
第1回	自助・互助・共助と地域包括制度	講義・演習	教室2
第2回	地域アセスメントと地域包括ケアシステム	講義・演習	教室2
第3回	地域での療養を支える制度	講義・演習	教室2
第4回	地域での療養を支える制度	講義・演習	教室2
第5回	へき地医療支援の理解	講義・演習	教室2
第6回	南和広域医療企業団の管轄医療圏(1市3町8村の理解GW)	講義・演習	教室2
第7回	南和広域医療企業団の管轄医療圏(1市3町8村の理解GW)	講義・演習	教室2
第8回	フィールドワーク	実習	校外実習
第9回	フィールドワーク	実習	校外実習
第10回	フィールドワーク	実習	校外実習
第11回	奈良県へき地の医療・保健・福祉の理解(マップ作成)	講義・演習	教室2
第12回	へき地における健康課題の抽出と支援方法のまとめと発表	講義・演習	教室2
第13回	施設見学(奈良県福祉パーク)	体験学習	福祉パーク
第14回	施設見学(奈良県福祉パーク)	体験学習	福祉パーク
第15回	単位認定試験		教室2
<b>準備学習等</b>			
南和広域医療企業団の管轄医療圏について市町村のホームページ等を確認・学習して参加してください			
成績評価方法	レポート課題、発表、演習参加状況による総合的評価		
テキスト 参考書	医学書院)地域・在宅看護論:1地域・在宅看護の基礎、2地域・在宅看護の実践		
受講要件 ・備考			

科目コード N-204	専門分野 広がる場での看護	単位数	必修 1単位
授業科目名	地域・在宅看護実践論3:暮らしを支える在宅ケア	時間数	30時間
担当教員	専任教員・南和広域医療企業団認定看護師・非常勤講師	開講時期	2年後期
<b>授業概要</b>			
在宅看護の展開について学び、ライフサイクル・家族構成に応じた療養上のリスクマネジメントに対する家族支援について学習する。また、在宅看護における権利保障・在宅で求められる在宅看護技術・医療管理を要する人の看護について学習する。			
<b>到達目標</b>			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ライフサイクル・家族構成に応じた療養上のリスクマネジメントの家族支援について意欲的に考えることができる。</li> <li>2. 家族看護における権利保障について説明できる。</li> <li>3. 在宅で求められる在宅技術に関する基礎知識について述べるができる。</li> <li>4. 在宅で医療管理を要する人の看護の特徴について説明できる。</li> </ol>			
<b>ディプロマポリシーとの関連性</b>			
<input checked="" type="checkbox"/> 1. 人間の生活を理解するための基礎知識、生活者の健康を支援するための専門的知識を習得している <input checked="" type="checkbox"/> 2. 生命の尊厳と権利を擁護する倫理観、価値観を尊重したコミュニケーション技法を身につけている <input checked="" type="checkbox"/> 3. あらゆる健康の状態にある人々の健康課題を解決するために、根拠に基づいた看護を計画的に実践できる基礎的能力を身につけている <input checked="" type="checkbox"/> 4. 地域社会の健康課題を把握し、他の医療・保健・福祉の専門職者と協働し、対象者及び家族への支援に関する基礎知識を身につけている <input checked="" type="checkbox"/> 5. 専門職業人としての責務を自覚し、継続的に学習する力と自己のキャリア形成をみすえ社会に貢献する意欲を持っている			
<b>授業計画</b>			
回	学習内容	授業方法	場所
第1回	地域・在宅看護を展開するための基本理念と技術	講義・演習	教室2
第2回	暮らしを支える看護技術:コミュニケーション	講義・演習	教室2
第3回	暮らしを支える看護技術:家族への支援	講義・演習	教室2
第4回	暮らしを支える看護技術:安全・事故防止・感染予防	講義・演習	教室2
第5回	地域・在宅看護の介入時期別の看護の実際:予防段階	講義・演習	教室2
第6回	地域・在宅看護の介入時期別の看護の実際:外来・入院時	講義・演習	教室2
第7回	地域・在宅看護の介入時期別の看護の実際:退院前	講義・演習	教室2
第8回	地域・在宅看護の介入時期別の看護の実際:在宅療養移行期	講義・演習	教室2
第9回	地域・在宅看護の介入時期別の看護の実際:在宅療養安定期	講義・演習	教室2
第10回	地域・在宅看護の介入時期別の看護の実際:リハビリテーション	講義・演習	教室2
第11回	地域・在宅看護の介入時期別の看護の実際:急性増悪・終末期	講義・演習	教室2
第12回	訪問看護演習	校内実習	在宅看護実習室
第13回	訪問看護演習	校内実習	在宅看護実習室
第14回	シミュレーション学習	校内実習	成人看護学実習室
第15回	まとめと単位認定試験		教室2
<b>準備学習等</b>			
在宅療養の基本的技術は基礎看護技術の応用です。知識や技術の復習をして臨みましょう。 成人看護学概論経過期別の看護を復習しておきましょう。			
成績評価方法	筆記試験・演習時の行動・課題レポートを総合して評価する。		
テキスト 参考書	医学書院)地域・在宅看護論:1地域・在宅看護の基礎、2地域・在宅看護の実践		
受講要件 ・備考			

科目コード N-205	専門分野 広がる場での看護	単位数	必修 1単位
授業科目名	地域・在宅看護実践論4:様々な機能障害のある人の在宅ケア	時間数	30時間
担当教員	専任教員・南和広域医療企業団認定看護師・非常勤講師	開講時期	2年後期
<b>授業概要</b>			
在宅療養者の疾患別の特徴を学習する。ライフサイクルにおける在宅看護の事例展開、脳神経系の疾患・慢性心不全、認知症、呼吸器疾患、独居の療養者、終末期、精神に疾患のある在宅看護の事例展開ができる。			
<b>到達目標</b>			
1. 在宅看護介入時期別の特徴を説明できる。 2. ライフサイクルにおける在宅看護の事例展開、医療的ケア児・脳神経系の疾患・神経難病、認知症、呼吸器疾患終末期、精神に疾患のある在宅看護の事例展開について解説できる。			
<b>ディプロマポリシーとの関連性</b>			
<input checked="" type="checkbox"/> 1. 人間の生活を理解するための基礎知識、生活者の健康を支援するための専門的知識を習得している <input checked="" type="checkbox"/> 2. 生命の尊厳と権利を擁護する倫理観、価値観を尊重したコミュニケーション技法を身につけている <input checked="" type="checkbox"/> 3. あらゆる健康の状態にある人々の健康課題を解決するために、根拠に基づいた看護を計画的に実践できる基礎的能力を身につけている <input checked="" type="checkbox"/> 4. 地域社会の健康課題を把握し、他の医療・保健・福祉の専門職者と協働し、対象者及び家族への支援に関する基礎知識を身につけている <input checked="" type="checkbox"/> 5. 専門職業人としての責務を自覚し、継続的に学習する力と自己のキャリア形成をみすえ社会に貢献する意欲を持っている			
<b>授業計画</b>			
回	学習内容	授業方法	場所
第1回	疾患別の地域・在宅看護の実際:家族が代行する医療的ケア児	講義	教室2
第2回	疾患別の地域・在宅看護の実際:介護困難な脳卒中の療養者	講義	教室2
第3回	疾患別の地域・在宅看護の実際: COPD	講義	教室2
第4回	疾患別の地域・在宅看護の実際:がん患者	講義	教室2
第5回	疾患別の地域・在宅看護の実際:パーキンソン病	講義	教室2
第6回	疾患別の地域・在宅看護の実際:統合失調症	講義	教室2
第7回	疾患別の地域・在宅看護の実際:認知症	講義	教室2
第8回	疾患別の地域・在宅看護の実際:慢性心不全	講義	教室2
第9回	疾患別の地域・在宅看護の実際:ターミナルケア	講義	教室2
第10回	多職種連携・チームでの協働	講義	教室2
第11回	地域・在宅マネジメント	講義	教室2
第12回	シミュレーション学習	校内実習	教室2
第13回	シミュレーション学習	校内実習	教室2
第14回	シミュレーション学習	校内実習	教室2
第15回	単位認定試験と演習のまとめ		教室2
<b>準備学習等</b>			
疾患別、経過期別看護の実際を理解しておくことが必要です。復習して十分な知識を持って臨みましょう。			
成績評価方法	筆記試験、シミュレーション演習時の行動・演習記録による総合的評価		
テキスト 参考書	医学書院)地域・在宅看護論:1地域・在宅看護の基礎、2地域・在宅看護の実践		
受講要件 ・備考			

科目コード N-206	専門分野 広がる場での看護	単位数	必修 1単位
授業科目名	地域・在宅看護実践論5:在宅での看護過程の展開	時間数	30時間
担当教員	専任教員	開講時期	2年後期
<b>授業概要</b>			
暮らしの中で行われる治療・看護について理解する 神経難病で療養している対象の看護過程の展開を行う。対象を全人的に捉え、生活を重視した視点で、対象を取り巻く環境やシステム、人的・物的資源、在宅生活の継続を支援するためのアセスメントを行い、健康課題の抽出と、日々の健康状態の判断・評価に基づき、NPPV導入時の指導案・援助計画の立案、教育媒体の作成・実施・評価・リフレクションを行う。			
<b>到達目標</b>			
<ol style="list-style-type: none"> <li>暮らしの中での治療・看護について理解する</li> <li>ALS在宅療養者の看護過程の展開を通して、訪問看護の実際について意欲的に考えることができる。</li> <li>在宅呼吸療法、NPPVの導入指導の教育媒体をつくり、指導することができる。</li> <li>指導評価とリフレクションに関する事項について理解できる。</li> </ol>			
<b>ディプロマポリシーとの関連性</b>			
<input checked="" type="checkbox"/> 1. 人間の生活を理解するための基礎知識、生活者の健康を支援するための専門的知識を習得している <input checked="" type="checkbox"/> 2. 生命の尊厳と権利を擁護する倫理観、価値観を尊重したコミュニケーション技法を身につけている <input checked="" type="checkbox"/> 3. あらゆる健康の状態にある人々の健康課題を解決するために、根拠に基づいた看護を計画的に実践できる基礎的能力を身につけている <input checked="" type="checkbox"/> 4. 地域社会の健康課題を把握し、他の医療・保健・福祉の専門職者と協働し、対象者及び家族への支援に関する基礎知識を身につけている <input checked="" type="checkbox"/> 5. 専門職業人としての責務を自覚し、継続的に学習する力と自己のキャリア形成をみずえ社会に貢献する意欲を持っている			
<b>授業計画</b>			
回	学習内容	授業方法	場所
第1回	暮らしの場で行われる治療と看護:褥瘡予防・褥瘡処置・ストマ	講義・演習	教室2
第2回	暮らしの場で行われる治療と看護:栄養状態改善のケア	講義・演習	教室2
第3回	暮らしの場で行われる治療と看護:輸液・中心静脈栄養	講義・演習	教室2
第4回	暮らしの場で行われる治療と看護:膀胱留置カテーテル	講義・演習	教室2
第5回	暮らしの場で行われる治療と看護:在宅酸素療法・人工呼吸療	講義・演習	教室2
第6回	暮らしの場で行われる治療と看護:疼痛緩和	講義・演習	教室2
第7回	在宅療養中のALS患者の看護過程の展開:アセスメント	講義・演習	教室2
第8回	在宅療養中のALS患者の看護過程の展開:健康課題の抽出	講義・演習	教室2
第9回	在宅療養中のALS患者の看護過程の展開:訪問看護の実際	講義・演習	教室2
第10回	在宅療養中のALS患者の看護過程の展開:看護計画立案	講義・演習	教室2
第11回	在宅療養中のALS患者の看護過程の展開:指導案作成	講義・演習	教室2
第12回	在宅療養中のALS患者の看護過程の展開:演習	講義・演習	基礎看護学実習室
第13回	指導評価と看護のリフレクション	講義・演習	教室2
第14回	パフォーマンス評価	校内実習	基礎看護学実習室
第15回	パフォーマンス評価	校内実習	基礎看護学実習室
<b>準備学習等</b>			
看護技術の応用を学びます。技術の復習、看護技術過程の復習をしておきましょう。			
成績評価方法	筆記試験・授業の参加状況・パフォーマンス・学習姿勢をもとに総合的評価		
テキスト 参考書	医学書院)地域・在宅看護論:1地域・在宅看護の基礎、2地域・在宅看護の実践		
受講要件 ・備考			